



スモールサンゼミ 京都通信 8月号

2019年8月20日
第23号

7月ゼミ報告

内容報告 報告者 奥田英詔

この号の内容

1 テーマ

「キャリア教育を取り入れた、主体的に行動する組織作り」

2 講師

・株式会社カンパニユラ代表取締役
スモールサン・キャリア構築プロデューサー
ゼミ FUKUOKA 担当プロデューサー
権堂 千栄実 氏～

3 アンケートより

事業計画と育成計画その両方が出来ているか？

“ゼミでの一言”

① 人の意見を否定しない

②ランドセル現在は 34 色。
多様化＝市場が小さくなっている。20 世紀 正解がある時代。一社でがんばればよかった 21 世紀 正解がない。必要な要素について、レゴブロック型でつないでいく

③昔 AIDMA の法則。売り手側に情報があって、消費者はそれにしがっていた。今 DECAX 発見から始まる町の商店街にはない情報を客が持っている。こういう時代に、どういう社員教育が必要か？

- ・社風・・・社風を作っているのは社員。社風を作っている原点は何か？を考える
- ・本日のゼミの目的は、自分の会社でどう人を育てようかと考える機会
- ・キャリア教育：キャリア（経験）＝（一人で事を成せる状況）
（考えながら）（聞きながら）（見ながら）できる
『再現性の確認』 このプロセスが人の成長につながる
キャリアの土台（体験） 「周囲が支援をして事が成せる 状況」
- ・社員の成長の目標を作って、教え育む。教える 種は社員。土や水や肥料は周りの社員。タネの状態を見ながら、量や内容をきめる。種を選別して、合うタネを採用する
- ・礼儀 1.0：自分の時間を犠牲にして、相手に時間や手間をかけたことが思いやり
- ・礼儀 2.0：相手の時間をとったらいけない。時間を重要な資源と考え、相手の時間を奪わないことが思いやり
- ◇産業の変化と教育の変化
- ・未来の仕事に向けてどのような育成をしていますか？例：外国籍の方を仕事で使っていくために、英語で指導が必要。指導者が英語ができていますか？事業計画と育成計画はセットで考える。
- ・自企業の求める人材にするために、今どのような育成、指導をしていますか？教育は未来から現在へ設計する
- ・社員が目指すゴールは明確ですか？ゴールに至る道筋の選択基準は明確ですか？管理項目＝再現ができるもの
- ・サーバントリーダーシップ：①組織目的 共通の目的を作る ②貢献意欲 お互いに協力する意思を持たせる。個々の特徴を生かし、組織の役立ちを考えさせる。③情報共有 円滑なコミュニケーションが取れるしくみづくり
- ・TWI トレーナーのポイント ①相手が覚えていないのは自分が教えてなかったのだ
- ②改善は会社の基本から。基本無くして改善なし
- キャリアの活用 過去のキャリア 周囲に影響され構築されるもの 未来のキャリア 周囲のサポートがないと形成できない

ゼミアンケート内容より

- ・社風は社員が作る。では社長は？社風をどう考えるかのルールを作らないといけない。種に重きを置いた採用計画をたてる“気がないと育たない”
- キャリア教育を戦略として意識し、段階的に経験をつみ教え育てる教育を行う必要がある。

その1 『2019年スモールサン全国研修会』

◆日時◆:9月13日(金)13:00~19:00

12:30~ 開場

13:00~15:00 第一部【第2回スモールサンアワード】

15:15~17:15 第二部【特別講演&セッション「楽しくなければ、仕事じゃない!」】

17:30~19:00 交流会

◆会場◆:品川プリンスホテル メインタワー「ゴールド19」

<http://www2.princehotels.co.jp/shinagawa/access/>

◆費用◆:

《スモールサン会員及び会員の紹介》

■ 一部二部のみ 10,000 円

■ 懇親会まで 22,000 円

その2

『スモールサンゼミ京都 秋のゴルフコンペ』

予告

2019年10月19日(土)

場所:未定